

会議録様式

審議会名	令和4年度第3回杉戸町立図書館協議会
開催日時	令和5年3月28日(火) 14時00分～16時00分
開催場所	杉戸町生涯学習センター 集会室1、2
会議の議題	(1) 杉戸町立図書館サービス計画の進捗について (2) 令和4年度杉戸町立図書館利用者アンケートの報告について (3) 令和4年11月～令和5年3月運営状況 (4) その他
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ 非公開(公開の場合傍聴者数4名) (非公開の場合理由)
出席委員氏名 (敬称略)	正司 顯好、但木 和久、石田 茂生、濱田 幸子、塩川 敬子、 寺崎 恵子、大橋 広美、齋藤 伸夫
審議の概要	1 審議事項 (1) 杉戸町立図書館サービス計画の進捗について (2) 令和4年度杉戸町立図書館利用者アンケートの報告について (3) 令和4年11月～令和5年3月運営状況 (4) その他
	2 審議の概要 (1)杉戸町立図書館サービス計画の進捗について 張ヶ谷主査より説明 委員)多文化サービスについて。図書館についての話をしたところ、図書館について知らないという人が多かった。町のホームページは4か国語対応だが、中々ホームページまでは見ていない。また、ボランティアを行う中で、杉戸町在住の外国人から、図書館には英語の資料が少なく、楽しめるものがないという意見を聞いた。様々なお知らせの表示や杉戸町の資料、ガイドマップなども外国の人たちにも伝わるように英文のものを作成して欲しい。 事務局)英語の資料については、選書ミーティング内で古くなっているという意見、また、一般向けと絵本に偏っていて、中高生向けの資料が少ないという事が意見として挙げた。中高生向け資料について英語に限らず、包括的に資料の見直しが必要と考えている。英語の資料については徐々に購入を進めていきたいと考えている。 委員)図書館利用案内の翻訳という事で、埼玉県国際交流課で英語・中国語合わせて5万5千円かかるとのこと。少し高いのではないか。例えば杉戸町在住の英語や中国語に長けている人材や翻訳ソフトなどを活用したりすることで、費用を抑えられるのでは。

事務局) 参考とさせていただきたい。

委員) 外国の方は家族で生活している人が多いと思う。保育所、幼稚園、小学校、中学校に外国籍の方に向けて、間にボランティアが入って、学校と外国人家庭を繋げるような活動をしている自治体もある。図書館に関連することとしては、子供に本を読んであげたいという母親のニーズが挙げられる。しかし英語が母語とは限らないので、どのくらいの家族がどのような言語を使っているというデータがあれば、その国の言葉の本を揃えられ、家族で利用できるようになってくる。また子どもを介して利用が広がっていく。

事務局) 学校等の情報収集という点については課題となっている点である。他言語の必要とされる割合という部分については学校等に働きかけてみようと考えている。購入という部分になると、予算の部分も絡んでくるが、購入を行うことが出来れば望ましい形であると考えている。

(2) 令和4年度杉戸町立図書館利用者アンケートの報告について 張ヶ谷主査より説明

委員) 今回のアンケート数が169件だが、前は481件でかなり減っているのだが、このことについて何か考えているか？何か理由があるのか？

事務局) アンケートの実施方法自体は昨年度と変わっていないが、来館者は重複者が非常に多い。そのため、同じ人が何回もアンケートに答えてしまう事態になってしまうため、それを避けるために一度渡した人に渡さないなどの対応をしているため、減ったことが考えられる。ただし減り方がかなり大きいので、次年度以降の課題としたい。

委員) アンケートだが、昨年度も同じ時期に行っている。このアンケート結果について、様々な意見が挙がったと思うが、図書館側としてはどのような話し合いが持たれ、どういう対処をしたのかを知りたい。そして昨年度のアンケート結果で、本を探しづらいという意見が多く挙がっていたので、分かりやすい案内板をつけて欲しいという意見が協議会で挙がったが、そのことについて現状変わっていないと思うのだが、検討内容などがあったら教えて欲しい。

事務局) 現状案内板の貼付は行っていないが、来年度に図書システムの更新があり、システムの業者に希望として挙げる予定になっているのが、検索レシートを出したときに場所を示す図がレシートに記載する機能である。これを用いれば視覚的にも分かりやすくなると思う。ただし実際、交渉の場に立って行ってみないと何とも言えない。システム更新まで待ってもらえないか。

委員) 初めて図書館に来て直面する問題が、資料を検索して目当て

の本にたどり着けるのかというところだと思う。勿論、杉戸の図書館を知っている人ならば分かっていると思うが、初めて来る人は分からない。そこは図書館が誘導するべきなのではないか。

事務局) 配置については図書システムの更新に合わせてレシートへの記載が出来るのであれば、そちらをやった方が上手くいく部分もある。令和3年度については2年後を見据えて動いていた部分がある。今年の10月には業者が決まるので、そこで結論は出せるので、時間をいただきたい。

委員) スマートフォン連携やレシートでの図示をやっている自治体はあるのか？

事務局) ここ数年で出てきたサービスのため、把握しきれていない部分がある。これから要望が高くなるサービスであるので、徐々に導入する自治体が増えて来るのではないかと思う。恐らくシステム更新時に合わせて導入を行うところが多いと思われる。杉戸町でもカードの紛失や自身の貸出履歴を知りたいという要望は多かったので、時期的にはちょうど良かったのではないかと考えている。

委員) コミックについて、手塚治虫など、名作と呼ばれるような作品は当然利用者も多いと思うが、コミックの日本史など、そういったドキュメンタリー系のコミックを大人のコミックとして少しずつ購入してってもらいたい。またCD・DVDについても需要が減ってしまったことは確かだが、知識・教養系のDVDについては新しい資料を購入してもらいたい。

事務局) CDに関しては若年層からのリクエストがないわけではないが、やはり購入検討を行うと優先順位は下がってしまう。DVDは基本的に映画を借りていく利用者が多いが、中には運動系やDIYの資料が無いかと聞いてくる利用者もいる。そういった資料は、価格についても映画ほど高価ではないので、比較的購入しやすいと考える。

委員) 目的の本を探して、中々その本にたどり着けないというのは、基本的な問題で由々しき問題でもあるので、それが年度を持ち越すことなくしっかり受け止めて早急に対応してもらいたい。

事務局) 意見として棚の数字の番号と、本の配置がずれているのが分かりづらいという意見もある。

委員) 棚の配置については開館当初からの状態なので、仕方がないが、現状の要望としては資料を探したときにその本がどこにあるかをすぐわかるようにしてほしい。そのために分かりやすい表示をしてほしい。

事務局) 案内板がはめ込み式になっており、館内のデザインと一体化しているので、新たに案内を作成することで浮いてしまう部分が懸念事項だった。ただし、今回このような意見が出ているので

検討をしていきたいと思う。

(3)令和4年11月～令和5年3月運営状況
佐藤主事より説明

委員)電子図書館について、現在杉戸町が所有しているコンテンツ数はどのくらいあるのか？

事務局)3月15日に令和4年度の電子コンテンツを全て購入し終えた。コンテンツ数は概数だが、2000点強と言ったところ。その内ライセンス買取型の資料が全体の67%、2年後に使用期限が切れてしまう資料が33%となっている。

委員)広報を工夫するなどして、電子図書館の利用率を上げて、少しでも予算をつけてもらえるように働きかけて欲しい。

事務局)現状、電子図書館の存在を知らない利用者が多い。なので小学校のブックトークや、新一年生の図書バッグプレゼントなどを利用して、まずはそういったコンテンツがあるという事を知ってもらうことが大事だと考える。また中学生についても紙の資料の利用が少ないので、電子図書館という比較的入りやすいところが図書館に来てもらえるようアプローチしていく必要もある。

委員)周りの利用者に聞いてみたところ、まず電子図書館のページにたどり着けないという事だった。どこからアクセスしたらいいかわからないという事、またアカウントを持っていても使わないという人も多い。その利用者たちがいざ使おうとなった時に、パスワードを忘れてしまって再発行してもらいに図書館へ足を運ばなければいけないということが手間に感じている。

事務局)WebOPACと電子図書館のパスワードはまったく別である。

委員)電子図書館の利用登録は別に行う必要があるという事か？

事務局)令和4年7月20日までに図書館利用カードを作成した利用者については自動的にアカウントが付与されている。パスワードは初期パスワードとして生年月日8桁が入っている。そこから自由なパスワードに変更可能である。

委員)近隣の利用状況はどうか？

事務局)近隣市町村も同じように苦戦していると聞いている。同規模の市町村である宮代町も苦労していると聞いている。貸出数が少なく、費用対効果が見合っていないという事を話していた。埼玉県は新型コロナの関係で導入した自治体が多いのでコロナが終息しても電子図書館から離れていくことが無いよう、どこかで挺入れが必要という話になっている。

委員)非来館型のサービスというのはどんどん充実させていった方が絶対に良い。是非利用率を上げる手段を考えてほしい。

委員) 電子図書館に青空文庫のようなものは入っているのか？

事務局) 青空文庫は別途費用がかかるため購入していない。その代わり、比較的安価でライセンス買取型の資料、例えばアガサ・クリスティや江戸川乱歩などの古典名作を多めに所蔵している。

事務局) 利用率を上げるべく、人気作なども多めに入れていくように心がけたのだが、人気作は期限付きコンテンツが多いため、あまりそちらに偏ってしまうと、2年後に大半のコンテンツが無くなってしまおうという事態になるため、今年度はライセンス買取型7割、期間限定型3割を目指して購入をすすめた。

委員) 電子書籍を使う利用者というのは、図書館へ来館しない人。たとえば電車などで通勤するサラリーマン、そして高齢者で公民館にも行けない人や施設に入所している人。本来は本を読みたいが借りに行くことが出来ない人も多くいる。そこで図書館と施設が連携して、施設に働きかけてもらい利用してもらおう。また、本を目で読むのではなく声で聴きたいという人にはボランティアを活用してもらおうなど、そういったことを行うと利用の仕方が変わってくるのではないかと思う。直接図書館に来なくても、読むことが出来る本の利点をどう生かすかは提案の仕方次第。読んでくださいという働きかけだけではもう利用者は来ない。

事務局) 施設については検討課題として挙がっていたので、情報収集から始めていきたい。

委員) コミックの棚が出来て良かったと思うが、人気なので棚が空のことがある。空になった棚にいったい何のコミックがあったのか分からないので、何らかの形でわかると良いと感じた。例えば画像を置いておくなど。もっと魅力的に空間を使ってもらいたい。

事務局) 何か一覧のようなものがあってもいいとは感じている。

委員) コミックは人気であるため、棚に戻らずそのまま貸出されたままになるケースが多い。棚が空なのでコミックコーナーがあることすら知らない人も出て来ると思う。

事務局) 大体シリーズで入っているので、リストを作成できたらと思う。ただし、レンタル屋のように画像を用いて貸出中とわかるようにしておくのは著作権的に難しい。

委員) YA の棚の見直しはしないのか？資料の背の焼け具合が凄くように感じる。

事務局) 現在見直しを行っている最中である。アンケートで流行りの読み物を入れて欲しいという意見があったが、流行り廃りの激しいものが多く、冊数も多いため、棚のスペースを圧迫してしまうため、購入はできないと判断した。そのため選書が難しい。

委員) 棚の場所を移動することは出来ないのか？

事務局) 棚は固定になってしまっているので動かすことが出来ない。なので背の焼けを諦め、あえて流行り廃りの激しい資料を配架して、日焼けする頃には次の流行りの資料を入れる…というような運用にするという方法もあるが、図書館の運用としてどうなのかという疑問は残る。そのような理由から、少し時間を貰いたい。現状、継続購入しているのは、「なるには BOOKs」シリーズ。今後精査しながら選書を進めていきたい。

委員) コミックの話に戻るが、例えば「〇〇というコミックはこちら」というような、ちょっとした POP を置くだけでも、どのようなシリーズがあるのかわかりやすく、次に来館した時に借りようという気にさせてくれると思う。

事務局) 検討したい。

委員) 小学生への電子書籍のアプローチの件だが、先生の負担がどの程度になるのかは分からないが、学校の図書室との連携、図書担当の先生、あるいは図書支援員と連携をして本を借りに来たが借りたい本がなかった時に電子書籍を案内できるような仕組みや、図書館と図書室の連携を上手くとれないかと思う。現状システム上両者が連携していないので難しいとは思いますが、何か出来ないかと思った。

(4) その他

委員) 今回の図書館利用者懇談会の参加者は図書館ボランティアが主だったが、図書館ボランティアは、本会とは別に意見交換をする場を設けてもらいたい。あくまでも「図書館利用者懇談会」なので、利用者が主体になるべきだと考える。

事務局) ボランティア連絡会については来年度初め頃に開催する予定である。通知等もそれに合わせて行う予定。

委員) ボランティア連絡会は必ず年1回行う方針でいいか？

事務局) 年1回開催したいと考えている。

委員) 図書館利用者懇談会も年1回行うという事でいいか？

事務局) 相違ない。

委員) ボランティア連絡会は年間行事の中に組込むことは出来ないのか？

事務局) 日程については他の事業との兼ね合いもあるので確定は出来ないが、必ず年に1回行う。

委員) 今までの連絡が大体2、3週間前に来ることが多かったの
で、それだとスケジュールの確保が難しいので1ヵ月前には連絡
が欲しい。折角の連絡会なので皆が参加できるように、配慮願
いたい。

事務局) 連絡時期については配慮したい。

委員) 協議会第1期でサービス計画を策定したときに、追加した文
があったかと思うが、その変更した正式な書類を貰っていない。
また、第2期の委員の資料にも追加されていない。これは計画に
付随するものなので、各自が手元に置いておくべきだと思う。そ
してこれは提案なのだが、図書館協議会の委員でどこかの図書館
を見学しないか。そういった形の会議があっても良いと思う。行
先は事務局に任せるが先進的な図書館を見学して杉戸町に取り入
れられるものはないかと考えるのもいいのではないかと思う。

委員) 杉戸と環境が似ている図書館などを見学して、杉戸町立図書
館に無いもの、長所、そういったものを見つけることは大切な事
だと思う。予算の関係などもあるだろうが、予算関係なしに出来
ることも多くあると思う。そういった機会を設けてもらおうと良い。